

講義科目 : 法哲学 (70期生)	単位数 : 2
担 当 : 小林 和之	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

具体的な問題に即して何が「正しい」かを考える力を養うことを目標とする。講義中に数回レポートを書く時間を設ける。

第1回から第3回「公と私」では、氏名の自由、夫婦別姓、同性結婚などの問題を通じ、私的領域と公的規制の問題について講義する。第4、5回「私と私」では交通事故と製造物責任の問題を通じて責任原理の歴史と未来について講義する。第8、9回「組織と個人」では、内部告発の問題を通じて部分社会の問題について講義する。第10、11回「リスクと法」では、家庭内の死亡事故や原子力発電の問題を通じてリスクの合理的処理について講義する。第12回「規範と事実」では人間の始期と終期の問題を通じて規範問題と事実問題について講義する。第13回「「正しさ」・主観・相対主義」では、正義の理論的 pursuit の可能性について講義する。第14回「環境問題」では、地球寒冷化の可能性を通じて環境問題の本質と合理的対応について講義する。第15回「民主主義」では、民主主義の本質的弱点と克服の可能性について講義する。

授業計画

- 第1回 公と私(1) 私の公的性格
- 第2回 公と私(2) 私の公的管理
- 第3回 公と私(3) 私の拡張と限界
- 第4回 私と私(1) 責任原理の過去と現在
- 第5回 私と私(2) 責任原理の現在と未来
- 第6回 事実と社会(1) 事実の社会性
- 第7回 事実と社会(2) 事実と裁判
- 第8回 組織と個人(1) 内部告発
- 第9回 組織と個人(2) 組織と個人
- 第10回 リスクと法(1) 危険の管理と表示
- 第11回 リスクと法(2) 不可能な伝達
- 第12回 規範と事実 人間の始期と終期の管理
- 第13回 「正しさ」・主観・相対主義 正義の意味と理由
- 第14回 環境問題 本質の理解
- 第15回 民主主義 必要悪の意味と対策

※以上は、対面講義が実施できた場合の予定である。遠隔講義になった場合には内容を大きく変更する可能性がある。

教材・テキスト・参考文献等

なし

成績評価方法

授業時間中に書いたレポートと定期試験の結果を総合評価する。具体的な%を表示することはできない。

※講義予定は、受講者の理解度・学習進度等によって変更の可能性がある。